都市再生整備計画(第5回変更)

東海道原宿地区

静岡県 沼津市

令和元年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	沼津市	地区名	東海道原宿			面積	91 ha
計画期間	平成 2		平成 3		交付期間	平成	27 年度 ~ 平成	31	年度

目標

大目標 原の資源を活用した、歴史・文化が薫るまちづくり

目標1 原の歴史的資源の活用による、地区のにぎわいの再生

目標2 地区の歴史・文化と調和する、風情あるまち並みの形成

目標3 新たな来訪者の誘引による地区の活性化の推進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

沼津市の西部に位置する原地区は、駿河湾に面しており、富士川・狩野川からの土砂が長い年月の中で堆積し、それが沿岸州となり、浮島潟、浮島湖と変遷し、その後も愛鷹山の河川からの土砂が加わって浮島沼となった。その周囲は沼沢地となり、 浮島ヶ原ができあがったもので、「原」の地名はこれに由来すると言われている。

古代の街道は、沼の北の山裾を通っていたが、平安中期以降の東海道は、海岸沿いを通るようになる。江戸時代になると原宿二町(東町・西町)と大塚町で東海道原宿を形成し、東海道五十三次の13番目の宿駅として、東西の交通の安全と街道整備の拠点として発展した。明治22年には、原町が誕生し、その後、昭和30年の浮島村との合併を経て、昭和43年に沼津市と合併し、現在に至っている。

現在は、北部を国道1号線が、中央を県道東柏原沼津線が、南部を県道富士清水線がそれぞれ横断しており、東海道本線のJR原駅もあることから、市街地へのアクセスが良好な居住地域になっている。

地区内には、江戸時代に往来する諸大名やシーボルトなどが立ち寄ったとされる名園「帯笑園」や禅宗の名僧「白隠」の「松蔭寺」をはじめとする地区内に点在する寺などの歴史的資源や国道1号沿いに続く桜並木や浮島沼越しの富士の景観など、地 域固有の資源が点在しており、地域振興のために有効活用することが求められている。

また、第4次沼津市総合計画(2011年~2020年)において、JR原駅周辺を生活や移動に便利な地域として、利便性が高く安心して住むことのできる質の高い生活環境を創出する「地域核」に位置付けており、地域の固有の資源や歴史的資源を活用し、市 民や観光客が訪れる拠点の整備と新たな都市機能集積などの可能性があるとしている。

平成12年度に決定した沼津市都市計画マスタープランにおいては、「特色ある自然環境、歴史的資源の保全、活用を図りながら、南北道路の充実や生活道路網の整備、オープンスペースの確保など市街地の整備を進め、自然と歴史の魅力を感じるまちづくりをする。」としており、この計画を受け、平成18年度には「東海道原宿地区都市再生整備計画(第1期)」、「原・浮島地区まちづくり基本構想」の策定、平成19年度には「白隠のみち整備基本構想」の策定、平成23年度には「東海道原宿地区都市再生整備計画(第2期)」を策定し、南北道路の整備、狭隘道路の解消、オープンスペースの創出など住環境の向上に努めると共に、緑化の推進、カラー舗装・街路灯の整備など自然環境・歴史資源の活用に努め、現在に至っている。 また、「沼津市景観計画においては、白隠のみち地区が景観形で東点地区に位置づけられ、歴史や文化を感じる風情ある景観づくりが求められている。

課題

【歴史的資源の保全・活用】

帯笑園、白隠のみち、東海道等の歴史的資源が点在しているが、まちづくりに十分活かされておらず、保全・活用が必要である。

【歴史に相応しい景観づくり】

地区の歴史に相応しいまち並みとなっていないことから、歴史や文化を感じる風情ある景観づくりが必要である。

【来訪者の円滑かつ安全な誘導】

原駅からの新たな来訪者を誘引するため、原駅の利便性の向上及び地区内の歴史的資源への円滑かつ安全な誘導が必要である。

将来ビジョン(中長期)

第4次沼津市総合計画:安全・安心を実感し、自然と歴史の息吹を感じる快適なまち

沼津市都市計画マスタープラン:西の玄関口づくりと自然・歴史を生かしたまちづくり

|原・浮島地区まちづくり基本構想:豊かな自然や歴史資源を活用した、住んで訪れて楽しいまちづくり

白隠のみち整備基本構想:白隠のこころと歴史を大切にする、やすらぎの"白隠の里"

|目標を定量化する指標|

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歴史的資源の活用への実感度		地区の歴史的資源がまちづくりに活用されていると感じる住民の割合。	歴史的資源のまちづくりへの活用を地区住民へのアンケートによって評価を行う。	31	平成26年度	60	平成31年度
まち並みの整備に対する実感度			風情あるまち並みの形成を地区住民へのアンケートによって評価 を行う。	35	平成26年度	60	平成31年度
原駅の年間乗降者数	千人/年	原駅を利用する年間の人数を測定。	原駅利用客数で地区居住者の動態と内外の交流人口の大きさを 評価する。	1,739	平成24年度	1,800	平成31年度

都市再生整備計画の整備方針等

		7
計	画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
	・【歴史的資源活用による賑わいの再生】 帯笑園及び白隠のみちの整備を実施することで、歴史的資源の有効活用を図り、来訪者の誘引及び地区住民の誇りを育て、地区のにぎわいの再生を図る。	■基幹事業 ・道路: 市道2221号線 ・道路: 市道2209号線 ・道路: 市道2222号線 ・道路: 市道2218号線 ・道路: 市道2218号線 ・道路: 市道2218号線 ・地域生活基盤施設(広場): 帯笑園 ・地域生活基盤施設(情報板): 白隠のみち ・高質空間形成施設(お灯): 白隠のみち ・高質空間形成施設(街灯): 白隠のみち ・高質空間形成施設(街灯): 白隠のみち ・西質空間形成施設(街灯): 白隠のみち ・西行建物計画道路原駅町沖線(駅前広場)整備事業 ・都市計画道路原駅町沖線(駅前広場)整備事業 ・都市計画道路原駅町沖線県単独街路事業 ・市道0204号線道路改良事業
	・【風情あるまち並みの創出】 地区の歴史に相応しい舗装や街灯等の整備を実施することで、風情あるまち並みの創出を図る。	■基幹事業 - 道路: 市道2221号線 - 道路: 市道2209号線 - 道路: 市道2225号線 - 道路: 市道2225号線 - 道路: 市道2218号線 - 道路: 市道2218号線 - 進路: 市道2218号線 - 地域生活基盤施設(情報板): 白隠のみち - 高質空間形成施設(カラー舗装): 白隠のみち - 高質空間形成施設(街灯): 白隠のみち □提案事業 - 事業活用調査: 事業効果分析
	・【来訪者の誘引による活性化の推進】 原駅自転車駐輪場の整備及び原駅から歴史的資源への回遊動線に情報板を設けることにより、新たな来訪者の誘引を促し、地区の活性化の推進を 図る。	■基幹事業 - 地域生活基盤施設(情報板): 白隠のみち - 地域生活基盤施設(自転車駐車場): 原駅自転車等駐車場 □提案事業 - 事業活用調査: 事業効果分析 ○関連事業 - 都市計画道路原駅町沖線(駅前広場)整備事業
-	の他 【官民協働によるまちづくりの実施】 ・白隠のみち整備にあたっては、平成17年度に地元自治会、商工会、寺院等の代表者によって設立された「白隠のみち整備協議会」と共に、整備内容の また、協議会が円滑に進行する様に必要な支援(運営支援・事例視察の支援等)を行っていく。)検討・提案・合意形成を図り、官民協働によるまちづくりを進めていく。

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

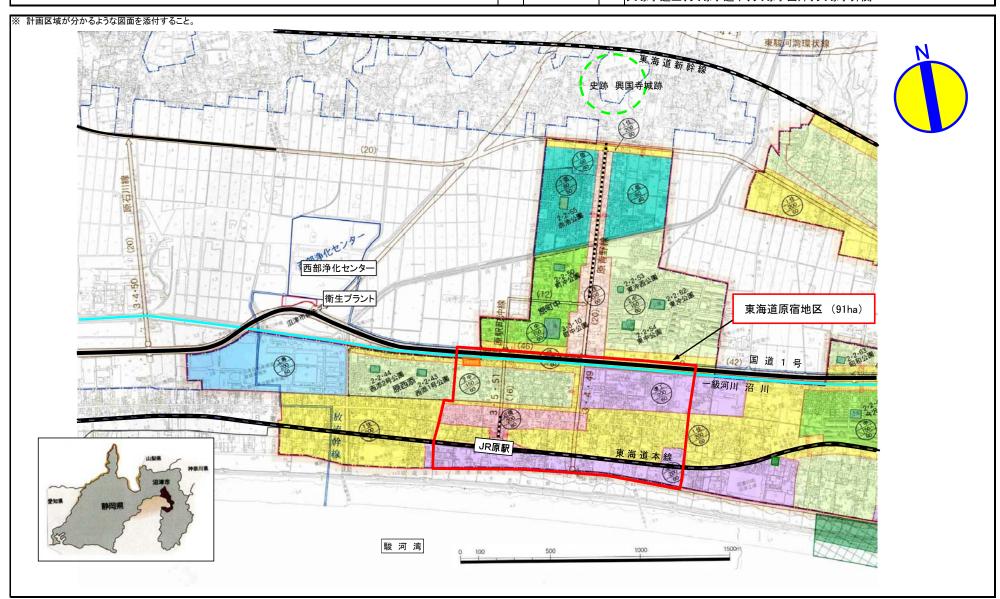
交付対象	事業費 24	·	付限度額	1 30	3.8		費率).4	J			(金額の単	単位は百万円)	
業				Τ.		(参考)	事業期間	- 交付期間	内事業期間	(参考)全体	交付期間内			交付対象	費用便益比
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	開始年度	終了年度	開始年度		事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	事業費	B/C
路		市道2221号線	沼津市	直	L=140m	20	29	27	29	56	16	16	0	16	
路		市道2209号線	沼津市	直	L=60m	27	28	27	28	8	8	8	0	8	
路		市道2222号線	沼津市	直	L=55m	21	28	27	28	33	6	6	0	6	
路		市道2287号線	沼津市	直	L=45m	27	29	27	29	6	6	6	0	6	
路		市道2218号線	沼津市	直	L=190m	27	31	27	31	31	31	31	0	31	
園															
都保存•緑:	地保全等事業														
[JI]															
水道															
車場有効和	用システム														
域生活基盤	整施設(広場)	帯笑園	沼津市	直	A=292mi	21	30	29	30	336	55	55	0	55	
	強施設(自転車駐車場)	原駅自転車等駐車場	沼津市	直	A=848m²	29	30	29	30	35	35	35	0	35	
	旅設(情報板)	白隠のみち	沼津市	直	N=13箇所	22	31	29	31	12	12	12	0	12	
	花施設(カラー舗装)	白隠のみち	沼津市	直	A=956m ²	20	31	28	31	117	31	31	0	31	
	t施設(街灯)	白隠のみち	沼津市	直	N=8箇所	21	29	28	29	12	7	7	0	7	
次都市施設															
心拠点誘導															
携生活拠点															
上活拠点誘導					1								1		
	!点誘導施設														
	用事業(高次都市施設)	帯笑園	沼津市	直	A=1584m ²	29	30	29	30	36	36	36	0	36	
地区画整理		11,70	7074-17		71 100 1111						00		,		
街地再開発															
宅街区整備															
	ョ ッス 環境整備事業														
を良建築物等															
	加上門改和														
E宅市街地	沿道等整備型														
	^{在這一年} 密集住宅市街地整備型			1	1								+		
	西来住宅市街地亚洲至 耐震改修促進型														
おみ環境整				1	1								+		
iなの環境壁 主宅地区改良				-											
				-											
ND共同住宅				-											
常住宅等整															
B市再生住宅															
5災街区整備	事 来									000	242	0.40		0.40	
h計 *** (예약 ** 111	T 0 IR A 0 4 57 #h)									682	243	243	0	243	
手美(継続地	区の場合のみ記載)	T			1	(会本)	事業期間	六八州明	内事業期間	(+++) A H	÷4#188+		1	÷444	1
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	(参考)全体	交付期間内	5. c. c. t. t. t.	5 t E 6 tE 0	交付対象	
	神 境日	-		-	+	用妇干及	於」平及	用好干及	於丁平度	事業費	事業費	うち官負担分	つち氏負担分	事業費	ł
也域創造				-											
を援事業				-											
全活田 調	事業効果分析	_	沼津市	古	_	31	31	31	31	4	4	4	0	1	
- *'a'Din	ナネ州本ノ川		カキリ	旦		31	31	31	31	+	4	4	"	4	1
ちづくり活]
推進事業															
計										4	4	- 4	0	4	…в
													合計(A+B)	247	
)関連事業															-
	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模		(いずわ	かに()			期間	全体事業費			
						直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度		※本シートを	生都市再生整6	#計画につける必要
	R原駅町沖線(駅前広場)整備事業		沼津市	国土交通省	2,700m ²		0			26	34	756			
	道路改良事業	沼津市原	沼津市	国土交通省	90.5m		0			23	30	168			
市計画道路	I 原駅町沖線県単独街路事業	沼津市原	静岡県	国土交通省	112.1m		0		<u> </u>	26	32	950			
수計												1.874	1		

東海道原宿地区(静岡県沼津市)

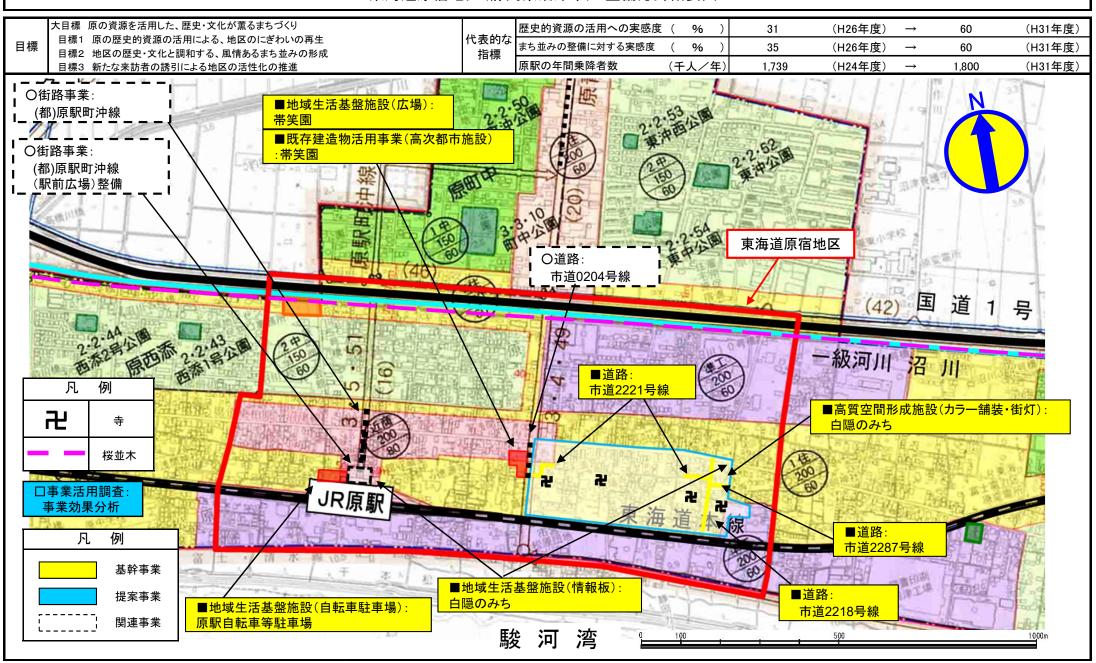
面積

91 ha

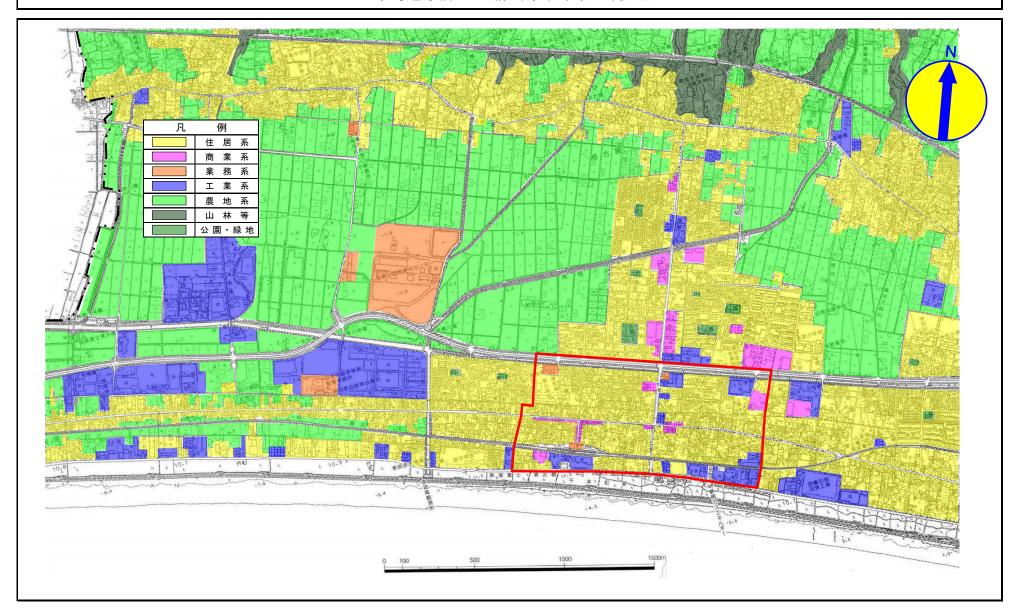
原字高田、原字東畑、原字御殿場、原字堀金、原字町添大塚字道上、大塚字道下、大塚字西沖、大塚字井関



東海道原宿地区(静岡県沼津市) 整備方針概要図



東海道原宿地区(静岡県沼津市) 現況図



交付限度額算定表(その1) 東海道原宿地区 (静岡県沼津市) 要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X) X≦Yゆえ、 本計画における交付限度額 98.8 百万円 規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y) 6.802.0 百万円 98.8 百万円 規則第16条第1項に基づく限度額算定 Au 364,000 m Ap 245700 m 住宅施設 0 円 公共施設の上限整備水準 公共施設の現況整備水準 建設予定戸数(戸) 超高層 区域面積(m) 910,000 ○整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定 一般 合計 推定現況整備水準(小数第2位まで) 0 当該区域 0.27 0.50 区域の面積が10ha未満の地区 推定公共施設面積(m)) 245700 標準整備費(円/戸) 超高層 -般 の特性に 応じて国 最近の国勢調査の結果による人口集中地区 北海道特別地区 41.310.000 33.500.000 0.45 土交通大 個別公共施設の積み上げ 北海道一般地区 38,190,000 30,990,000 臣が定め 面積(m) 割合 特別地区 49,120,000 35,690,000 0 その他の地域 0.40 る割合 道路 大都市地区 37,170,000 30,180,000 公園 多雪寒冷地区 41,510,000 32,370,000 広場 39,520,000 35,640,000 奄美地区 92,000 **円/m** 緑地 沖縄地区 30,280,000 30,280,000 単位面積あたりの標準的な用地費 公共施設合計 0 一般地区 33.700.000 28.640.000 標準地点数 1 公示価格の平均値(円/㎡) 92.000 Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 6802 百万円 市街地再開発事業による施設建築物 0 円 単位面積あたりの標準的な補償費 施設建築物の延べ面積(㎡) 標準共同施設整備費(円/㎡) 当該区域内の戸数密度(戸/㎡) 132,000 標準補償費(円/戸) 44,000,000 0 : ΣCn 下水道 0 円 電線共同溝等 0 円 区域面積(m)) 910,000 電線共同溝等延長(m) 23,000 円/m うち現況の供用済み区域面積(m)) 標準整備費(円/m) 680,000 標準整備費(円/㎡) 3,600 人工地盤 0 円 0 百万円 地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円 人工地盤の延べ面積(㎡) まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設 上限床面積(m) 9,400 標準整備費(円/㎡) 5,300,000 標準整備費(円/㎡) 472,000 国庫補助事業 面積(m) 施設名(事業名) 費等(百万円) 協議して額を定める大規模構造物等 調整池 0 円 大規模構造物等 協議状況 整備費(円) 調整池の容積(m³) 標準整備費(円/m³) 140.000 河川 0 円 河川整備延長(m) 標準整備費(円/m) 合計 3,700,000 Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 6802 百万円 要綱第5に掲げる式による限度額算定 <社会資本整備総合交付金> 基幹事業(A) 243 百万円 [1)式] $\alpha 1 = 4(A+B)/5 =$ 198 |要綱第Ⅲ編イ−10−(1) 3)式の適用〔提案事業2割拡充〕

交付対象事業費

提案事業(B)

合計

4 百万円

247 百万円

[2)式]

 α 2=10A/9=

交付限度額(X)

270

98.8 百万円

平成20年度二次補正予算の執行

要綱第Ⅲ編イ−10−(1) 4)式の適用[中活等の45%拡充] 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

要綱第Ⅲ編イ−10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

安棡弗皿編1-10-(1)Ⅰ	掲げる式による限度観昇疋(許和	诎)				
	返要事項を入力して下さい。(百万円単位)					単位:百万円
〇交付対象事業費(必ず)	<i>入力</i>)	(百万円)			(百万円)	
交付対象事業費	基幹事業合計(A) 提案事業合計(B) 合計(A+B) 提案事業割合(B/(A+B))	243.000 A 4.000 B 247.000 0.017	(事業費) (事業費) (事業費) ⇒	1)式で求まる額(4/10*(A+B)) 2)式で求まる額(5/9*A) 上記①、②の小さい方 国費率(③÷(A+B))	135.000 ② 98.800 ③	(国費) (国費) (国費) (国費率)
○☆☆☆★毎						
〇拡充の有無 以下の3つの拡充のうえ ・3)式の適用[提案事業 ・平成20年度二次補正 ・4)式の適用[中活等の	予算の執行	る欄にのを記入		F入力。 3)式で求まる額(5/8*A) 3)式の適用後(適用がある場合は3式反映) 3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	98.800 6	(国費) (国費) (国費率)
〇拡充がある場合の事業	書 笙					
	ロマ の <i>執行がある場合及び4) 式の適用がある</i> 4	場合は、以下に	事業費等を入っ	カ。 カ。		
平成20年度二次補正			(事業費) (国費) ⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A') 執行額を足した額 補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	98.800 9	(国費) (国費) (国費)
				補正適用後の国費率(⑪÷(A+B))		(国費率)
	計画の認定等の年度末までの執行 事業費(F)	F	(事業費)	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400 12	(国費率)
	適用対象となる交付対象事業費 (A"+B")	0.000	(事業費)	V C C 1 1 4 4 4 4 1 2 2 4 4 7 1 C 1		√□ #\
場合	適用対象となる基幹事業合計(A") 適用対象となる提案事業合計(B")		(事業費) プ (事業費)	適用対象事業費から求まる限度額 適用後の国費率(③÷(A"+B"))	0.000 (13) #DIV/0! (14)	(国費) (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の 執行事業費(H)	Н	(事業費)	4) 式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0! (15)	
※4)式の適用を受ける場は、Fの欄を記入せず、A	合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新 '、B"を記入し、A"=A、B"=B、H=A"+B"=A+Bと	規地区)なる。		I		
<u></u>				拡充も考慮した交付限度額	98.800 16	(国費)
〇交付限度額、国費率の	算出					
	交付対象事業費(A+B)	247.0	(事業費)	交付要綱第5に基づく交付限度額 (⑩を1万円の位を切り捨て) 国費率		(国費) (国費率)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年
道路		市道2221号線	沼津市	16	2		14		
道路		市道2209号線	沼津市	8	1	7			
道路		市道2222号線	沼津市	6	1	5			
道路		市道2287号線	沼津市	6	1		5		
道路		市道2218号線	沼津市	31	2			15	
公園									
古都保存・緑地	保全等事業								
河川	7 7 7 7								
下水道				+					
<u>- 小足</u> 駐車場有効利用				+					
地域生活基盤於		帯笑園	沼津市	55			2	53	
		原駅自転車等駐車場		35			10		
	施設(自転車駐車場)		沼津市				10	25	
地域生活基盤於		白隠のみち	沼津市	12			3		
	拖設(カラー舗装)	白隠のみち	沼津市	31		9	8	6	
高質空間形成的	· 直設(街灯)	白隠のみち	沼津市	7		6	1		
高次都市施設									
中心拠点誘導旅	· 也設								
連携生活拠点認									
生活拠点誘導旅				†					
高齢者交流拠点				†			 		l
	用事業(高次都市施設)		沼津市	36			31	E	
		117天國	沿洋巾	1 36			31	5	1
土地区画整理事				+					
市街地再開発事				_			ļ		
住宅街区整備事									
	境整備促進事業								
優良建築物等蟿	&備事業								
	拠点開発型								
住宅市街地	沿道等整備型								
総合整備	密集住宅市街地整備型			+					
事業	耐震改修促進型			+					
街なみ環境整備				+					
							ļ		
住宅地区改良事				+					
都心共同住宅供									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等	手整備								
防災街区整備事	美業								
ā†				243	7	27	74	104	
事業									
事業	(=-T.S	事業箇所名	事業主体	交付対象	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成3
	細項目	, <u> </u>		事業費					
地域創造									
支援事業									
事業活用	事業効果分析	-	沼津市	4					
調査									
まちづくり活動									
推進事業		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-					
H				4	0	0	0	0	
				4	_				
				247		27			
進捗率(%)					2.8%	13.8%	43.7%	85.8%	
5) 邦古機能立場	地支援関連事業								
ラ / 旧かけり及 化・ユン	巴又族民建争未				1				l
	事業	事業箇所名	事業主体	交付対象	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成3
	尹木	デ 木凹 川 口	尹未工件	事業費			' ' '		
		+	- 	尹 术艮			 		
				 			 		-
							oxdot		
				0	0	0	0	0	(
進捗率 (%)				0	0	0	0	0	(

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分		事業 手法				員	整備後 車線数	歩道 幅員	まち交 事業費	まち交における 事業期間	事業内]容	都市計画 決定	備:	考
		注1)		注2)		m	整備前 m	整備後 m	車線	m	百万円	(年度)		注3)	年月		注4
<道路>				_													
市道2221号線	~	地	市	-	改良	140	2.5	4.0	1		16	H27~H29	側溝整備				
市道2209号線	~	地	市	-	改良	60	4.0	4.0	1		8	H27~H28	側溝整備				
市道2222号線	~	地	市	-	改良	55	3.0	4.0	1		6	H27∼H28	側溝整備				
市道2287号線	~	地	市	-	改良	45	2.0	4.0	1		6	H27∼H29	側溝整備				
市道2218号線	~	地	市	-	改良	190	2.8	4.0	1		31	H27~H31	側溝整備				

(参考)

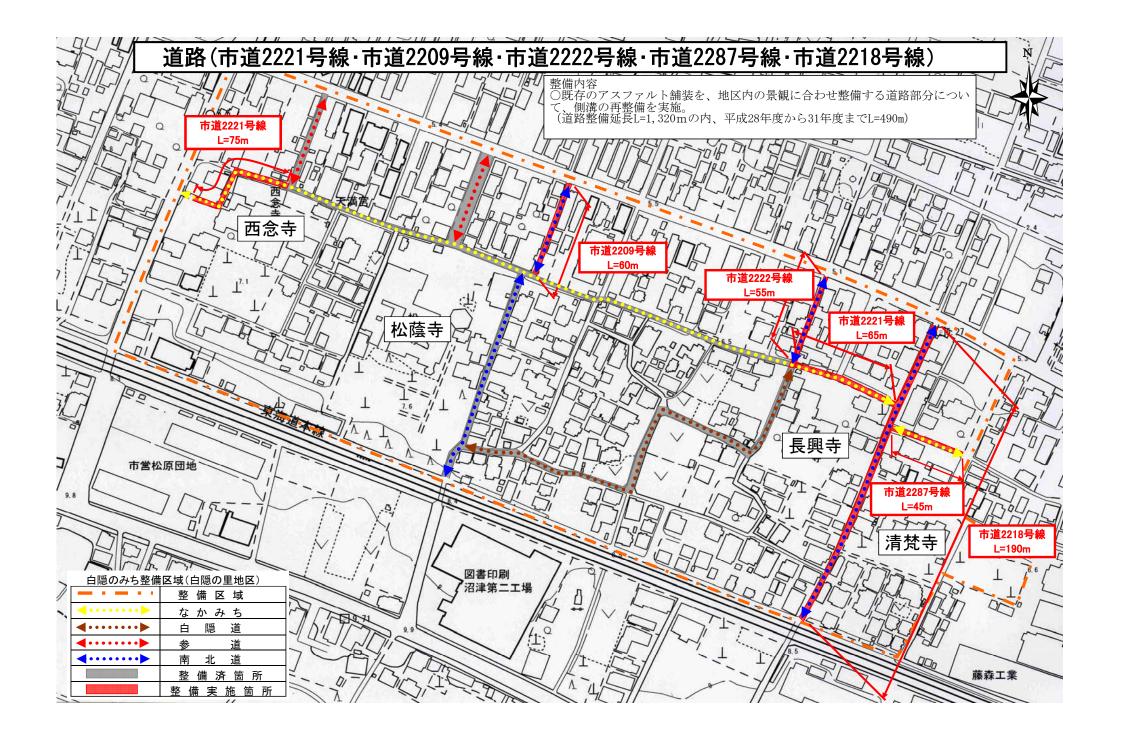
<関連事業>								

*本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

〈関連事業〉については、国、主、一、市の別を記載。 ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

- 注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。
- 注3)施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名
- 注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載
 - (例):道路改築:交通量(人/日)、混雑度等
 - ・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等
- * 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。
- * 不足する場合は適宜行を追加すること

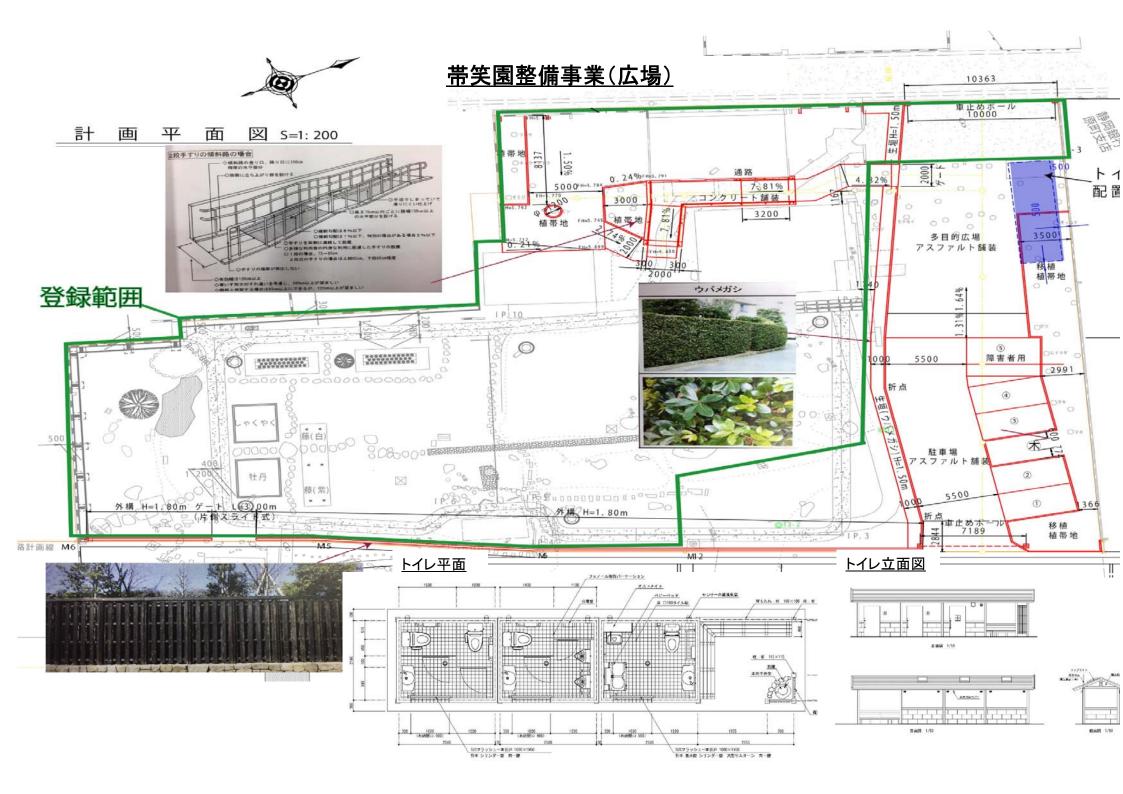


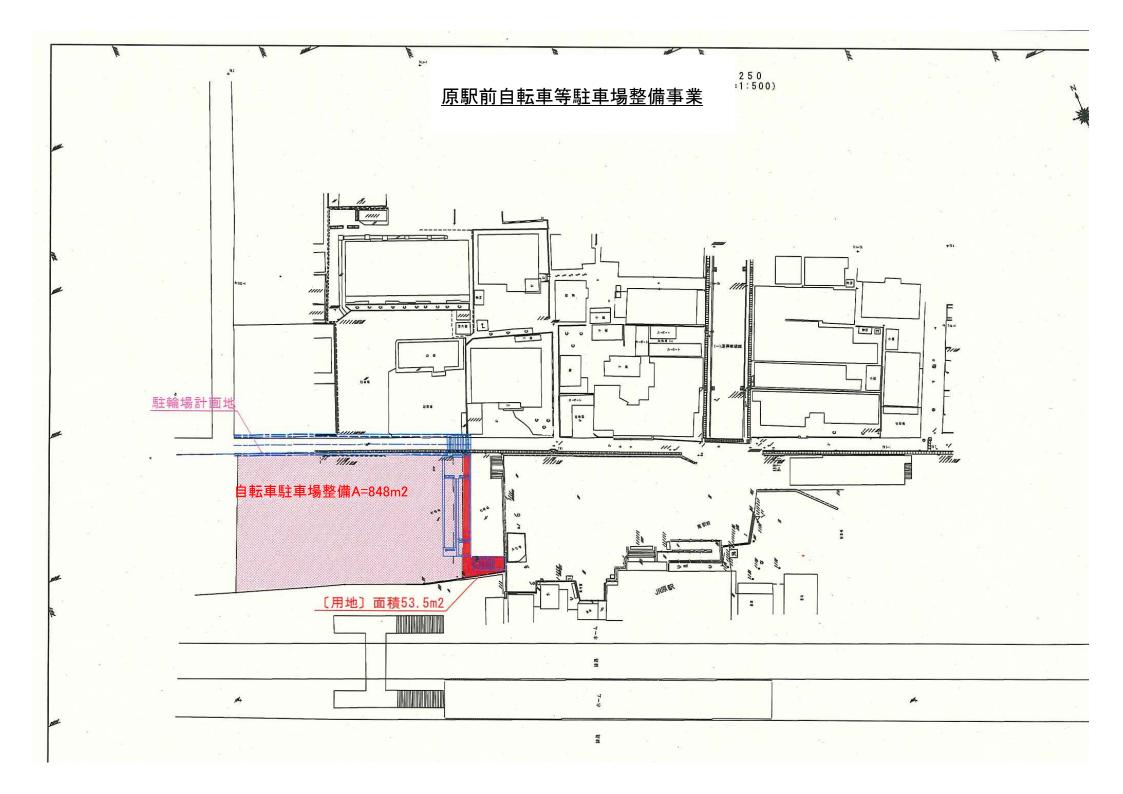
地域生活基盤施設

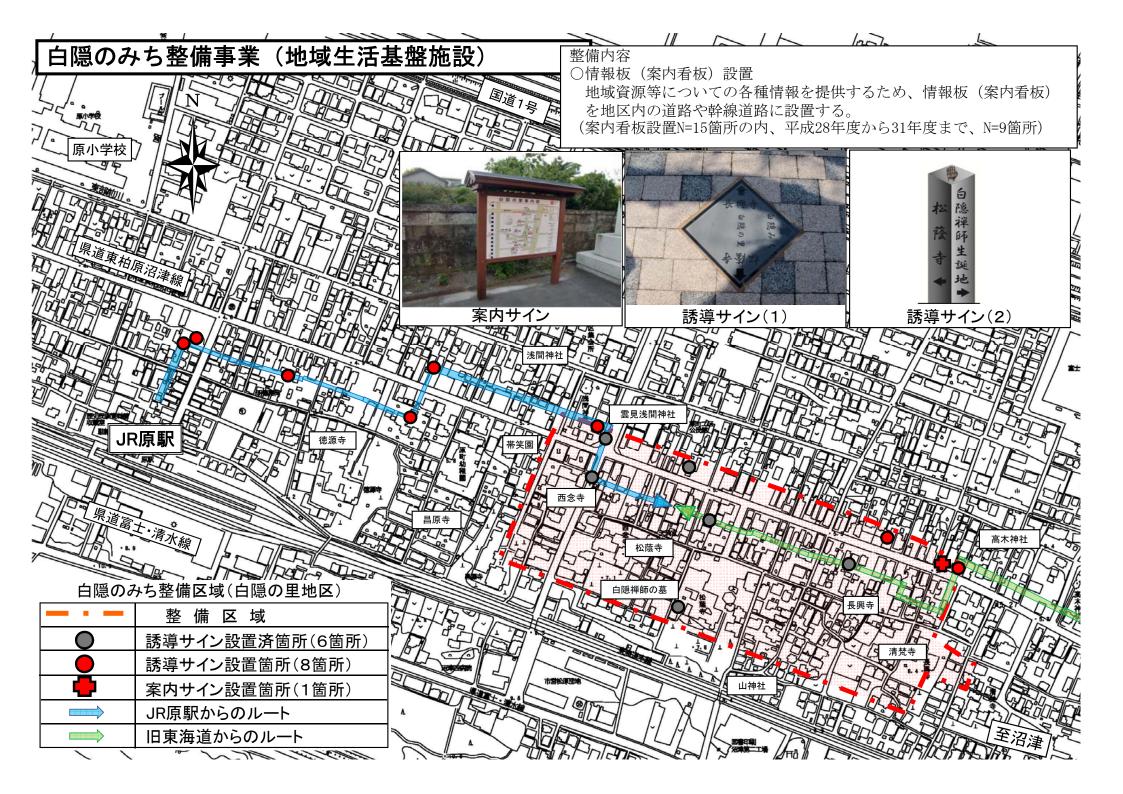
単位:百万円

			概要			交付期間内事	事業費内訳		十四:1771
交付対象施設	施設名	事業主体	(面積、幅員、	交付期間内	設計費	用地費	施設整備費		備考
	(路線名等)		延長、規模等)	事業費				うち購入費	
緑地								_	
広場	帯笑園	沼津市	広場面積A=292㎡	55	2		53	_	
駐車場									
自転車駐車場	原駅自転車等駐車場	沼津市	駐車場面積A=848㎡	35	5	5	25	_	
荷物共同集配施設									
公開空地									
情報板	白隠のみち	沼津市	案内看板N=9箇所	12	3		9	_	
地域防災施設									
人工地盤									
合計	_	_	_	102	10	5	87	-	

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等 における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。



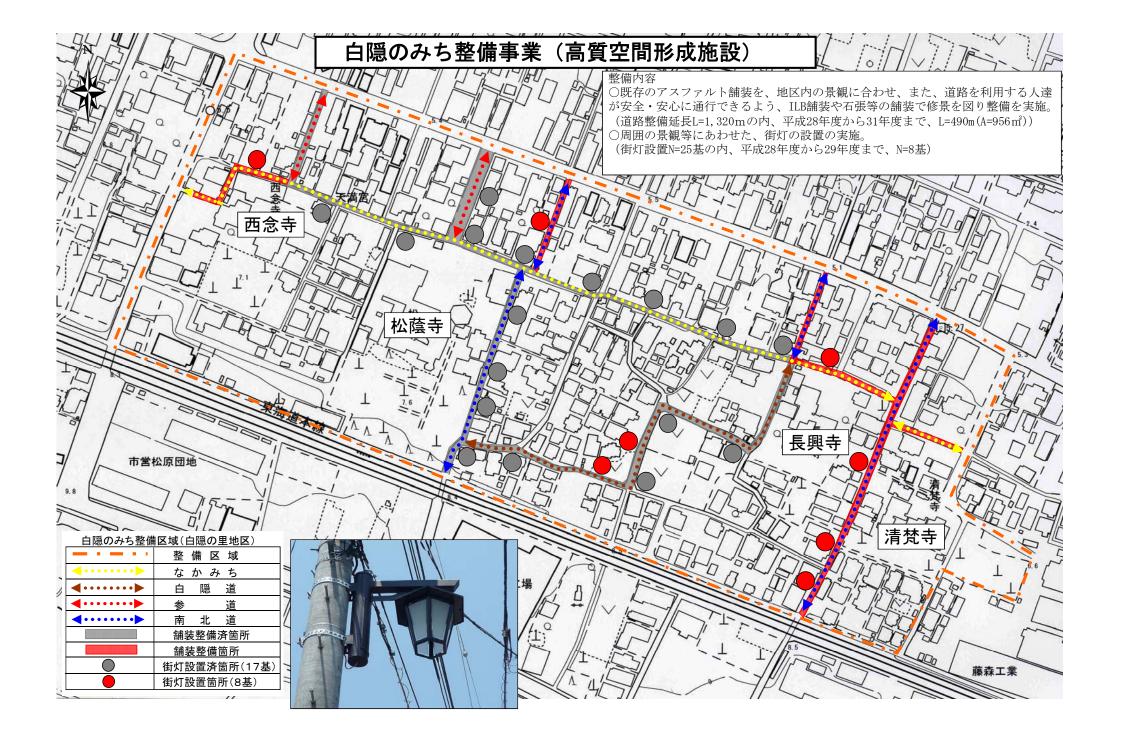




高質空間形成施設

単位:百万円

	HA							<u> </u>
交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内	交付	 期間内事業費 	为訳	備考
				事業費	設計費	用地費	施設整備費	
ストリートファニ チャー・モニュメント 等)	白隠のみち	沼津市	ILB舗装A=956㎡	31		= 2 •	31	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	白隠のみち	沼津市	街灯(8基)	7			7	
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設								
歩行支援施設、障害 者誘導施設等								
合計	_	_	_	38			38	



既存建造物活用事業

既存建造物の従前の用途・活用の必要性等

帯笑園内に所在する「臨春亭」は、江戸時代後期には客をもてなし人々が集う場として利用されてきたが、幾たびかの建替えを経て近年は居宅の一部として利用されていた。現在は沼津市が寄付を受け、管理をしているが、老朽化および耐震性の問題から活用に至っていない。帯笑園には相当数の歴史的資料が所在するが、これらを展示・公開する場としてのみならず、園地を見渡せる休み処としてや茶会などのイベントを展開できるよう耐震補強を施し、活用を図るものである。

また、西蔵についても、土蔵として利用していたが、臨春亭と同様に老朽化・耐震性に問題があるため、耐震補強を実施し、展示施設として活用するものである。

地域生活基盤施設 単位: 百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	期間内事業費 施設整 購入費	を 付表 を 付表 を 付表 を 付表 を 付表 を できます を できまる かっこう かっこう かっこう かっこう できます かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	備考
			严以、 /死快寸/			其	

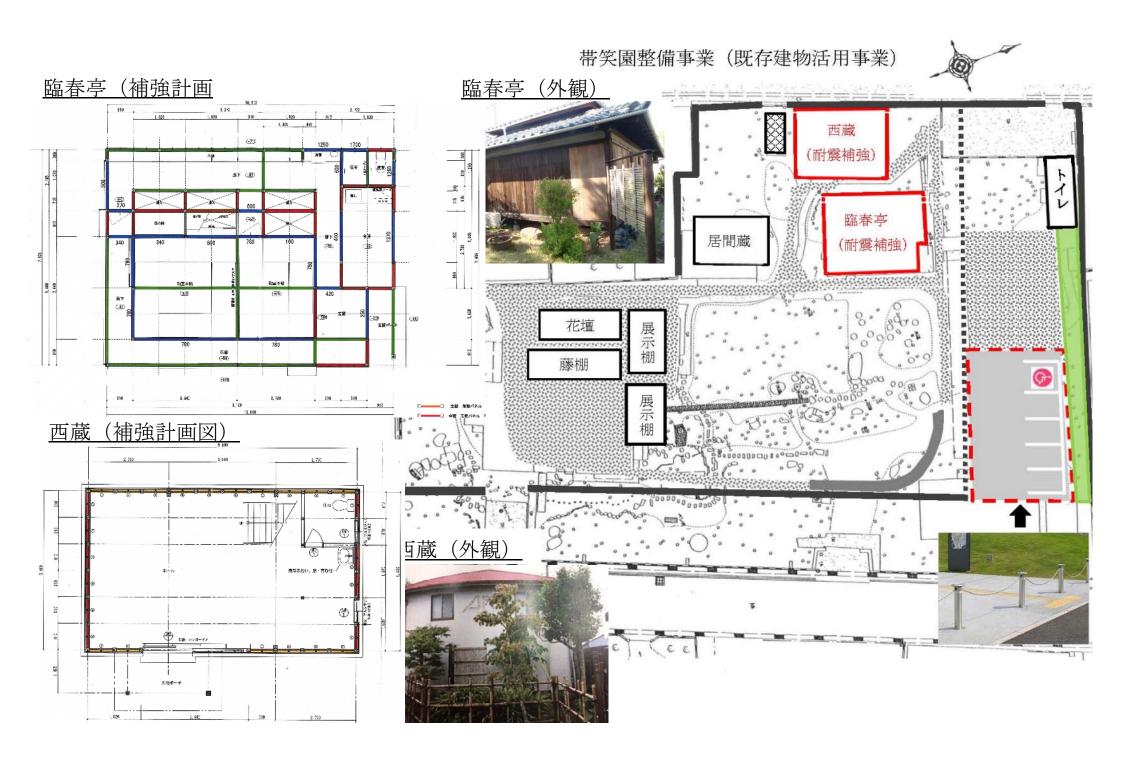
高質空間形成施設 単位:百万円

							期間内事業費		
交付	対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費		施設藝	整備費	備考
				(箇所数、規模等)	事業費	設計費	購入費	移設·改築 費	

高次都市施設

-3 × 4 -1 = % B												
交付対象施設	施設名	事業主体	概要	交付期間内	設計費	施設整備費					備 考	
			(面積、規模等)	事業費		購入費	移設•改築	空地等整備	情報通信施	制振·免震構	防災施設整	
						脾八 須	費	費	設整備費	造化工事費	備費	
地域大法共议方	世位国	沼津市	15042	20	4		97	_				
地域交流センター	帯笑園	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	1584 m²	30	4		21	э				

- ・施設名ごとに(道路は路線ごとに)1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・その他記入上の注意は「地域生活基盤施設」、「高質空間形成施設」、「高次都市施設」のシートと同様。



事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

事業名	事業概要	事業主体	規模	交付期間内事業期間	交付期間内	事業費		声巻走の ナルは冷柳西	(単位:百万円 その他		
				交付期間内事業期間 開始年度 完了年度		うち調査費	うち用地費	うち整備費	うち購入費	事業費の主な使途概要	その他
事業活用調査	事業効果分析調査	沼津市	1業務	31 31	4	4				事業効果分析委託費	
声类 故用八长											
事業効果分析											